

基本構想

私たちのまち高槻は、北摂山系の美しい山並みや淀川、芥川などの豊かな水とみどりに恵まれ、先人の英知と努力によって、豊かな歴史と文化を育んできました。

これを継承し、更に発展させるため、第6次高槻市総合計画では、高槻市の特長や社会環境などを踏まえ、始期を令和3(2021)年度、目標年次を令和12(2030)年度として、次に掲げる将来の都市像が実現することを目指します。



1 都市機能が充実し、快適に暮らせるまち

利便性の高い都市空間が形成されるとともに、良好な住環境が保たれ、市民が快適に暮らせるまちを目指します。

2 安全で安心して暮らせるまち

市民・事業者と行政が協働して、災害に強いまちづくりを進めるとともに、非常時のサポート体制も整い、子どもから高齢者まであらゆる世代の市民が安全に安心して暮らすことができるまちを目指します。

3 子育て・教育の環境が整ったまち

子育て支援や教育環境の更なる充実が図られ、子どもを産み育てやすい環境や子どもたちが健やかにのびのびと育つ環境が整ったまちを目指します。また、あらゆる世代の市民が互いに学び合えるまちを目指します。

4 健やかに暮らし、ともに支え合うまち

市民が自ら健康づくりに取り組み、十分な医療体制が整っていることで、誰もが生きがいを持って健やかに暮らせるまちを目指します。また、地域で支え合い、高齢者や障がいのある人などが住み慣れた地域でいきいきと暮らすことができるまちを目指します。



5 魅力にあふれ、にぎわいと活力のあるまち

本市の豊かな自然や歴史・文化などの魅力が広く知られ、国内外から多くの人々が訪れるとともに、産業が活発で、にぎわいのあるまちを目指します。

6 良好な環境が形成されるまち

市民・事業者と行政が協働して、みどり豊かでうるおいのある自然環境や良好な都市環境が形成されるとともに、地球温暖化防止に積極的に取り組むまちを目指します。

7 地域に元気があって市民生活が充実したまち

一人ひとりの人権が尊重され、地域に愛着をもつ多くの市民がコミュニティ活動やボランティア・NPO²⁷活動などに参加する風土の醸成された、活気あるまちを目指します。また、あらゆる世代の市民が文化芸術やスポーツに親しみ、充実した暮らしを送ることができるまちを目指します。

8 効果的・効率的な行財政運営が行われているまち

将来世代に過度な負担を残さないよう、効果的・効率的な行財政運営により健全財政が維持されたまちを目指します。

²⁷ NPO: Non Profit Organization の略で、様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し、収益を分配することを目的としない団体の総称。

まちづくりの合言葉



高槻市は、大阪・京都の中間、関西のほぼ中央に位置しており、全国に誇れる数多くの歴史遺産を有していることから、古くから交通の要衝、歴史上重要な地であったといえます。

近年では、高槻ジャンクション・インターチェンジ、新名神高速道路の開通により、名神高速道路と新名神高速道路へのアクセスが可能となったほか、JR高槻駅においては特急列車が停車するなど、交通利便性も飛躍的に高まっています。

また、施策面では、他の自治体に先駆けた取組で、広く注目される存在であり、市民アンケート結果においては、住み続けたいまちとしての評価も高いことから、市民の愛着も強いと考えられます。

これら、全国に誇れる数多くの特長を有する高槻市は関西の中央に位置するまちとして、今後も市民とともに輝く未来を創造し、訪れたい、住みたい、住み続けたいと思われる都市として着実に成長、発展し続けることを目指し、

「輝く未来を創造する 関西の中央都市 高槻」

を、まちづくりの合言葉とし、基本構想に掲げる将来の都市像の実現に向け、取り組むこととします。



